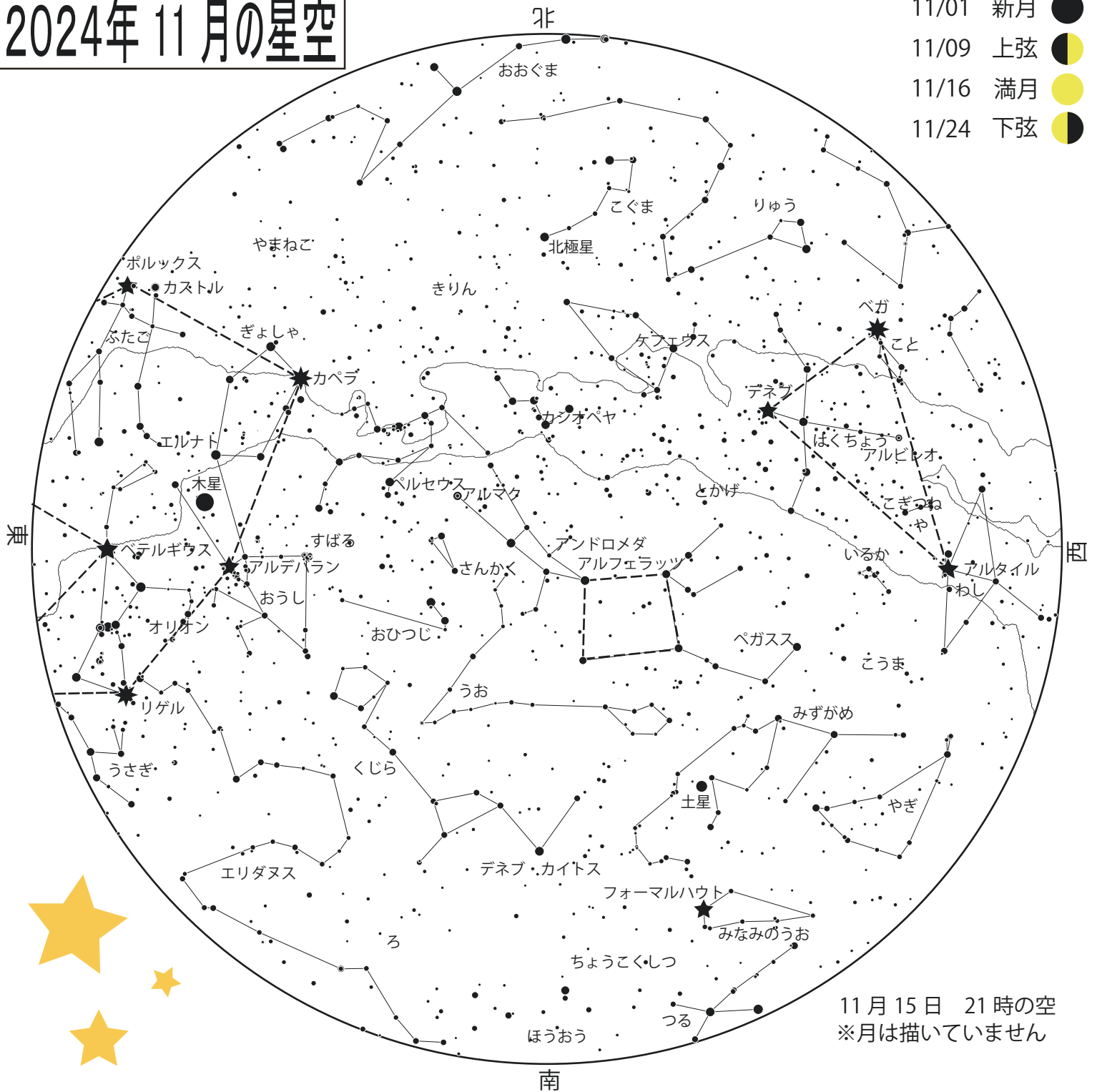


姫路で見る 2024年11月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



- 11/01 新月 ●
- 11/09 上弦 ●◐
- 11/16 満月 ●●
- 11/24 下弦 ◑●



11月15日 21時の空
※月は描いていません

11月の中旬を過ぎると、姫路では日の入りが午後4時台になりました。最も遅かった夏至直後からは、2時間半近くも日の入りが早まったことになります。夜の長さが感じられるようになり、肌寒い日が増えてきました。

日の入り直後の南西の空には**金星**が明るく輝いています。来年1月10日に太陽から最も離れる**東方最大離角**となるため、これから徐々に高度を上げ、宵の明星としての存在感を増していきます。**金星**が沈んだ後、南の空には**土星**が輝き、東の地平線からは明るい**木星**が昇ってきます。さらに**木星**が空高くなる夜遅くには、来年1月12日に地球最接近を控えている**火星**も東の空に見えてきます。

南の空には、**秋の四辺形**が空高く昇っています。**ペガスス座**がその中心で、**アンドロメダ座**、**カシオペア座**、**ケフェウス座**、**ペルセウス座**、**くじら座**など、ギリシャ神話のエチオピア王家の物語に登場する星座が取り囲んでいます。東の空では、**おうし座**の**アルデバラン**、**オリオン座**の**ベテルギウス**と**リゲル**、**ぎょしゃ座**の**カペラ**など、冬の一等星たちが**木星**を取り囲んでいます。これからは、東の空は明るく彩り豊かな星たちで賑やかになりそうです。